

第1学年 学級活動指学習導案

- 1 単元名 さわやかな「自己表現」のために
—アサーショントレーニング—
- 2 本時 第5校時 教室
- 3 本時の目標
○ 自分の思いや体験を互いに発表しあうことで、お互いの理解が深まりあうと同時に、自らの思いを広げる契機とする。
- 4 本時指導の考え方
○ 自己表現の仕方を学んだ上で、自分のありのままの姿を受け入れること(自己受容)を促し、それを言葉で表現するアサーショントレーニングのエクササイズを試みる。すごろくトークは楽しい雰囲気の中で自分自身の思いや体験を語ることができ、それによって自他理解が深まる効果的なエクササイズである。
事前に自己表現の仕方に着目させることによって、話し手も聞き手も自己意識が高まり、より主張的でより受容的な雰囲気を作り出すことができる。
- 5 準備 すごろくシート(各班1枚)、サイコロ(各班1個)、自己表現の説明シート、友人からの感想シート、振り返り用紙
- 6 本時の展開

配時	学習活動・内容	指導上の留意点	集団づくりを生かす手だて	評価規準 <評価の方法>
1	1 本時の学習活動を 確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">めあて 他の意見を聞くこ とで、自分の視野 を広げる</div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 正対して聞かせる。 		
6	2 ウォーミングア ップ ・自己表現のタイプ を再確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自己表現の仕方を3つ 示し自己表現のよりよい タイプを考えさせる。 		
4	3 インストラクシ ョンを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ● ルールの説明と聞き手 の約束事を指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 話す・聞 く、両方の態 度の大切さを 確認させる。 ● 相手を認め た上で自分自 身と比較しな がらコメント を返したり、さ 質問したり、さ せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動に意欲 的に取り組ん でいる。 <様相チェック>
20	4 エクササイズ 「アサーションす ごろく」をする。	<ul style="list-style-type: none"> ● 話すときやコメントを 返すときには、「しずか ちゃんタイプ」を心がけ るように指示する。 ● どうしても話したくな い項目については無理を せず「それについては今 は話せないのでごめん なさい」と伝えること を指示する。 		
8	5 ワークシートに 感想を記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自由な感想を記入す るよう指示する。 ● 新たな発見や気づき などを素直にかつ自由 に書くよう指示する。 		
6	6 エクササイズで 感じたことや気づ いたことを自由に 発表し合い、共有 する。 (シェアリング)	<ul style="list-style-type: none"> ● 素直な気持ちで発表 するよう指示する。 		
2	7 振り返り用紙に 記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 素直な気持ちで記入 するよう指示する。 		
3	8 まとめを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ● 正対して聞かせる。 		